



ロータリーの風

国際ロータリー第 2570 地区 第 4 グループ
皆野・長瀬ロータリークラブ

平成 24 年 12 月 6 日

第 6 号

朋遠方より来たる有り

平成 24 年 10 月 14 日(日)、吉田棕神社例大祭の龍勢まつりが行われました。今年の龍勢まつりは、好天に恵まれ龍勢の昇り方も例年より良かったようです。後日、11 万人の人出で賑わったと報じられました。

皆野・長瀬ロータリークラブは、毎年この龍勢まつりに合わせて移動例会を開催しています。朝早くから夕方まで、会員と家族が敷席でおしゃべりや飲食をしながら龍勢を観賞します。今年は特に友好クラブの横浜金沢ロータリークラブ(第 2590 地区 神奈川県)から 15 名の会員・家族にも出席し



て頂きました。ほとんどが初対面にも拘わらず、和やかで楽しい交流会となりました。そして今後も交流を続けようと誓い合いました。

こんなに遠く離れたクラブとも容易に交流できることは、ロータリークラブの大きな特色です。正に「朋(同じ志を持つ仲間)遠方より来たる有り、また楽しからずや。」です。

子ども育成行事を後援

平成 24 年 11 月 18 日(日)皆野中学校体育館において、皆野町子ども会連絡協議会(黒沢伸二郎会長)主催の「彩の国 21 世紀郷土かるた大会」が開催されました。当クラブから表彰メダルを贈呈し、大会を後援しました。子どもたちの頑張る意欲を高めることができました。



児玉 RC との合同例会

平成 24 年 11 月 22 日(木)長瀬有隣倶楽部において、当クラブ主催で児玉ロータリークラブとの合同例会を開催しました。今年は、埼玉県立自然の博物館がリニューアルオープンした直後であることから、例会の前に博物館の見学を入れました。

自然の博物館では、坂本学芸員から巨大ザメ(カルカロドン メガロドン)や埼玉の奇獣パレオパラドキ

シアの発掘物語をお聞きし、遙か昔1500万年前の日本の様子に思いを馳せました。

親睦宴会では、各会員・家族が得意のカラオケを披露し、親睦を深めることができました。



努力は1926年頃になってようやく認められ、1927年のインターシティー・ミーティング（近隣数クラブが集まって行われる会合）のときには、会議中や会議後、会員の家族が中心となってロータリー・ソングが歌われ、会員もやっと、歌うことが親睦の源であると理解した、と東京ロータリークラブの記録にあるそうです。

やがて、日本語によるロータリー・ソングを求める声が高まり、「奉仕の理想」や「我等の生業」が1935（昭和10）年、京都における地区大会で、日本語ロータリー・ソング入選作として発表されました。

こうして、例会で歌を歌うことが習慣となり、この習慣はアメリカの多くのクラブに波及し、今日では、オーストラリア、日本、ナイジェリア、ニュージーランド、カナダなどのさまざまな国の例会におけるポピュラーな親睦行事となっています。



ロータリー・ソング

皆野・長瀬ロータリークラブでは、例会のはじめにロータリー・ソング「奉仕の理想」を斉唱しています。今回は、ロータリー・ソングの歴史を紹介します。

日本最初のロータリークラブは、1920年創立の東京ロータリークラブですが、初めころは「ロータリー・ソング」として英語のまま歌っていたそうです。当初はアメリカ人会員E.D.バートンが会員に歌を歌わせようとして指導したものの、皆「見戯に類する……」として乗り気でなかったようです。彼の

奉仕の理想

作詞 前田和一郎（元京都RC）

作曲 萩原英一（元東京RC）

奉仕の理想に 集いし友よ
御国に捧げん 我等の業（なりわい）
望むは世界の 久遠の平和
めぐる歯車 いや輝きて
永久に栄えよ 我等のロータリー
ロータリー

国際ロータリー第2570地区 第4グループ

皆野・長瀬ロータリークラブ

〒369-1305 秩父郡長瀬町長瀬 1446 養浩亭内

例会日：毎木曜日 12:30～13:30

例会場：長瀬レクリエーションホテル養浩亭

Tel&Fax:0494-66-4134

E-Mail:minanaga@chichibu.ne.jp

区域限界：皆野町、長瀬町、秩父市吉田・黒谷・太田